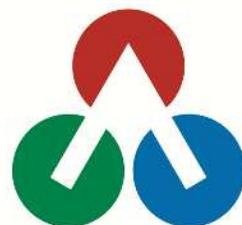


極早生×作業性

トップスターのご紹介



朝日アグリア株式会社

こんな悩みはありませんか？

畑が何か所もあるので、
出来るだけ一気に
収穫したい。

草姿が大きいと、
畑に入りづらくて嫌だ。

丈が短いと切るのが大変。
収穫しやすい品種が欲しい。

トップスターがお奨めです！



特長① 収穫作業性が抜群



Point 揃いが良いため、
収穫回数が少なくて済む



Point 枝の本数が少なめで
落とすのが楽



Point
草姿が立性でコンパクト
花蕾位置が高く切りやすい

特長② 花蕾品質が高い



Point 花蕾色が濃い

Point 粒揃いが良い

Point ドーム形状が良く
ボリュームがある

※極低温期はボリュームが出ず、
アントシアンが発生するので注意。

よくある質問

Q 1 耐病性はどの程度ありますか？

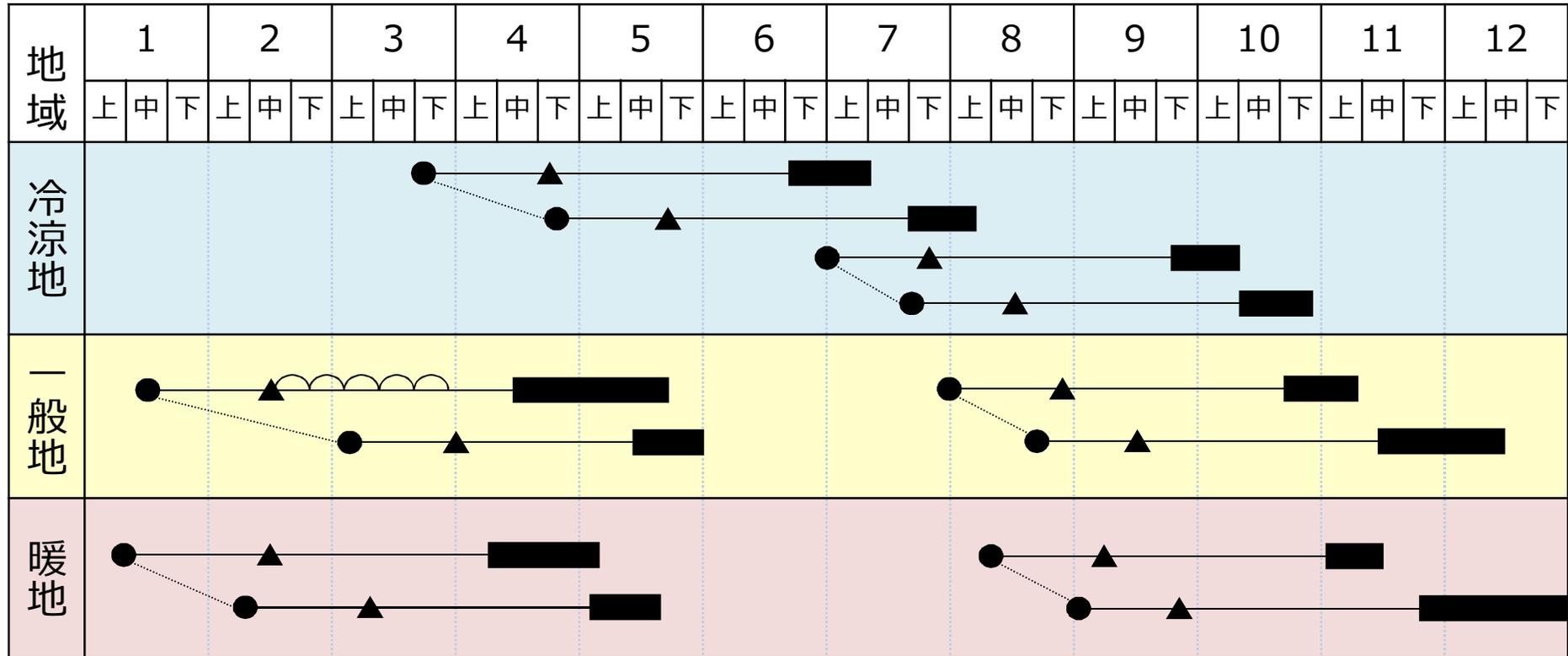
花蕾腐敗症・黒腐れ病に対しては、対照品種と同程度です。

Q 2 空洞症やリーフイーは発生しますか？

空洞症、リーフイー共に発生しにくいですが、
ただし、多肥栽培と急激な気温の上昇下では発生の可能性
があるのでご注意ください。



作型表 (定植後60日タイプの極早生)



● 播種 ▲ 定植 ■ 収穫 〰 トンネル

※遅くまいて早く取る！

トップスターは高温障害に弱いいため、早まきは避けましょう。

栽培のポイント①

■しっかりと根を張らす

トップスターは元々毛細根が多くない品種です。
中耕は2～3回行って、生育初期からしっかりと根を張らし、
株を作り上げましょう。定植直後の通路の中耕も効果的です。



Point①

定植後10日～2週間頃
を目安に土寄せ・除草。



Point②

定植後1ヶ月頃を目安に、
通路を追肥・中耕・除草
し、株元まで土寄せ。



Point③

2回目の土寄せ後1～2週間
を目安に中耕し、培土器で
しっかりと培土する。

良い根張りの状態



Point 直根だけでなく毛細根が多い

定植直後から根張りを良くする管理を心掛けることで、毛細根が多くなり、良い花蕾収穫に繋がります。

悪い根張りの状態



ここがNG

毛細根の張りが極端に少ない

乾燥・加湿など圃場条件の悪化に耐えられない。

しっかり株ができず、肥料吸収、蕾形成のバランスが悪化してしまう。

湿害からの回復事例



Point

適期に中耕・培土・追肥したことで、
茎の部分から根が発育し、
株の生育に大きく役立った。

湿害を受けた部分。
根の生育が悪く、
特に毛細根が少ない。

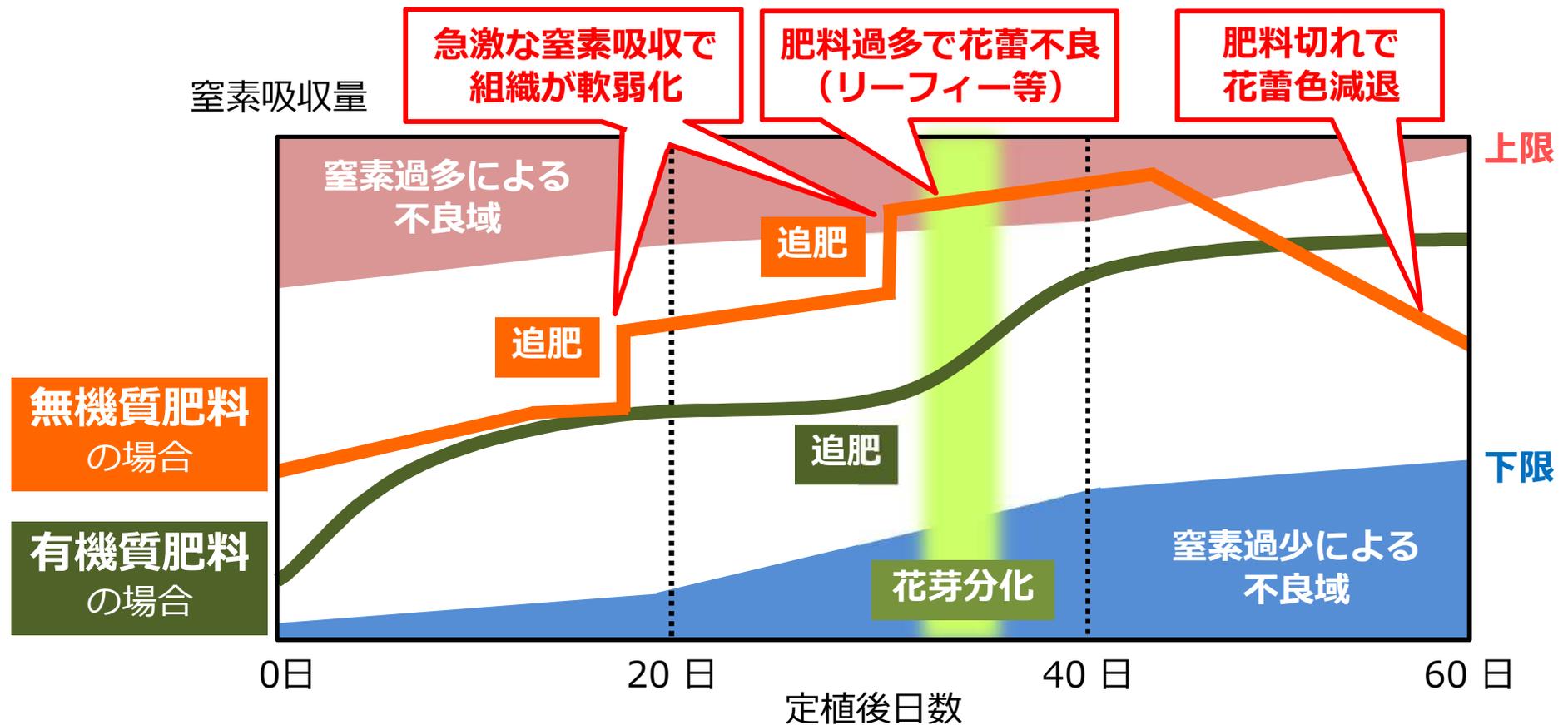


**草勢が回復し、
花蕾形状・蕾の揃いが安定。
良品出荷に至った。**

栽培のポイント② (肥料吸収イメージ図)

■ 有機入り肥料がお奨め

根張りが良くなる効果の他、花蕾品質の向上も期待できる。



各地の事例①

トップスター (長野)

定植：8月10日

撮影：10月4日



対照品種



各地の事例②

トップスター (埼玉)

播種 : 8月10日

定植 : 9月2日

撮影 : 11月19日



各地の事例③

トッpstター (和歌山)

定植：9月5日

撮影：11月13日



トッpstター



対照品種



各地の事例④

トップスター（福岡県糸島市）

定植：9月7日

撮影：11月14日

